

平成25年度「GKP広報大賞」エントリーシート

エントリーする団体名の名称 名古屋市上下水道局		担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】 名古屋市上下水道局企画部主幹 杉本 充伸 電話 052-972-3719 FAX 052-972-3710 E-mail m.sugimoto.03@jogesuido.city.nagoya.lg.jp	
代表者氏名 上下水道局長 長谷川 和司			
(他薦の場合) 上記団体を推薦する団体の名称		担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】	
部門名 広報部門 行政広報部門	事例名 名古屋市上下水道100周年事業		
事例の概要(適宜、写真、図、記事の画像等を挿入して下さい)			
(1) 上下水道100周年事業について 下水道供用開始100周年(平成24年)について、水道給水開始100周年(平成26年)とともに、平成23年から26年まで既存の事業の枠組みを活用して、一体的・連続的に100周年事業を展開			
(2) 基本コンセプト 「100年の歴史を礎に、つないでいこう信頼の絆」 100年の歴史を検証、継承するとともに、これからの100年を見守り安心して安心・安全で安定した事業の持続的な経営に取り組む姿勢を示し、お客さまからの信頼を深める契機として事業を実施			
(3) 実施した下水道100周年事業の概要(平成23年~24年)			
① 主なイベント			
☆水の環コンサート(23年8月、24年11月) 水環境保全等のPRのため水にちなんだ名曲コンサートを開催 ☆歴史写真展(24年1月、6~12月) 市内18ヶ所で下水道の創設期からの写真・資料の展示会を開催 ☆上下水道訪問授業(24年4~7月) 若手職員が96の小学校で上下水道と100周年について授業を実施 ☆下水道絵画コンクール・作品展(24年7~12月) 小中学生対象。217の応募作品から17作品を表彰 ☆100周年記念式典(写真上)(24年11月)「水の天使」を活用し、先人の功績をたたえる顕彰式や記念講演を実施			
② 展示施設等の整備			
☆下水道の歴史メモリアルゾーン(写真下) 昭和5年に日本で初めて活性汚泥法を導入した堀留水処理センターに、当時から保存されている旧処理施設を映像で学び、旧反応タンク等の実物を見てまわれる見学コースや記念モニュメントを整備・設置するなど、下水道の歴史を市民が実感できる空間を創出			
☆下水道科学館のリニューアル 参加・体験型施設としてのいっそうの充実のため、展示物を更新			
③ 事業史などの作成 100年の歴史を綴る下水道事業百年史や、浸水対策の歴史なごや水物語~雨に強いまちづくり編、歴史映画下水道100年の歴史、子ども向け下水道啓発漫画スクープを追え!徳種くんの不思議な下水道の旅を作成			
④ 職員向け事業の実施 職員の意識啓発のため100年の豆知識発掘や100周年特別賞を設けての記念論文の募集等を実施			
(4) 100周年事業のPR			
◇一般市民の参加(公募)によるシンボルマークの決定とバナー・刊行物等への活用(右図) ◇市長定例記者会見の活用など積極な情報提供によるマスコミへの露出追求 ◇ウェブ上の「名古屋市上下水道100周年サイト」やFacebook(期間限定)による情報発信 ◇職員の「歩く広告塔」化(名札、ピンバッジ、名刺、PRジャンパーの活用)によるPR			
			
エントリー事例の特徴(下水道インフラの価値を高める上で優れていると思われる点など)			
○ 歴史的意義の高い下水道資産を活用し、その「見える化」を図るなど、普段、一般市民の目に触れにくい下水道について、その歴史と役割が体感的に理解されるよう創意工夫 ○ 水道・下水道両事業について、一体的・連続的に展開し、水道のイベントでも下水道をPR ○ 既存のイベントや整備事業の枠組みを最大限に活用して効率的にPR ○ 基本コンセプトの下、市民と職員に向けて多様な歴史検証・紹介事業や現在・将来の事業の紹介・提案事業等を統一的に展開 ○ インターネット利用の普及に対応し、ウェブサイトやSNSを活用して事業の最新情報を総合的にPR			

